



# 衣川台なまず通信

発行 衣川台自主防災部  
発行日 平成29年2月5日

## 第2回防災訓練がありました

【訓練概要担当】事務局副班長 田村重喜

【避難誘導担当】避難誘導班長 前田 満

昨年11月23日（勤労感謝の日）9：00、琵琶湖西岸断層帯と花折断層帯連動の直下型地震（震度7）で、甚大な被害が発生したという想定で訓練が開始された。

### 1. 一時避難場所（南公園）から避難場所への避難訓練 : 衣川台自主防災部担当

地震発生と同時に南公園で受付を開始、10分で101名が集合した。その中には傷病者が2名あり車椅子を利用した。7班に分かれて9：15に避難を開始した。途中、車椅子のベルトが車輪に絡まるトラブルがあったものの、9：40に無事避難場所へ到着した。



〈避難者受付〉



〈避難誘導訓練〉



### 2. 避難場所（里東小学校）での訓練 : 仰木の里学区防災会担当

参加者総数約460名が救出救護訓練、避難所開設イメージ訓練（体育館に入り、簡易トイレや居住スペースを体験し、避難所での生活を想像した【次年度設営訓練予定】。）消火訓練の3班に分かれローテーションしながら訓練を行った。その間に給食給水班の応急給食訓練が行われ、全ての訓練終了後に豚汁とご飯を試食した。



〈救出救護訓練・車椅子搬送〉



〈消火訓練・バケツリレー〉



〈豚汁とご飯の試食〉

### 3. 反省と今後

#### (1) 一時避難場所から避難場所への避難訓練

- ① 特定の組の参加率が低かったが、訓練の案内方法に改善の余地があり検討する。
- ② 避難途中での車椅子トラブル（ロープが車輪に巻き付く）を今後の事前訓練により解消する。
- ③ 成安造形大学前道路を渡る際、危険を伴うので、従来通り信号機のある交差点を横断するよう周知徹底する。（避難経路を順守）

#### (2) 避難場所での訓練

- ① 参加団体に対する避難指示が曖昧のため、右往左往したので防災会に改善を申し入れた。

# 新潟県糸魚川市の安否確認制度に学ぶ

情報班長 間島洋一

昨年12月下旬日本海を寒冷地低気圧が通過し、風速20Mを越す強風が吹き荒れる中、糸魚川市で火災が発生しました。折からの強風下火勢は増し飛び火を重ねながら燃え続け、約30時間後ようやく鎮火しました。特筆すべきはこのような飛び火を重ねながら急激に燃え広がった大火にも拘らず、犠牲者が皆無であったことです。

その経緯を4チャンネルTVで放映されていたので紹介します。

糸魚川市は地形的に低気圧が通過すると強風に見舞われることが多く、古来大火を繰り返し危機意識の高い土地柄でしたが、最近新潟中越地震で倒壊被害を受け、それ等を教訓にして次のような対策が講じられました。それは地域を5～6戸単位のグループに分割し、そのグループのリーダーを組長と呼び、区長が組長を統括しました。平常時組長はグループを掌握するため、グループ員の集まりやイベントを繰り返し、グループ内の情報の共有に努めました。特に高齢者や要介護者等の情報を重視し、グループ員が災害時その人達をどのように避難させるか、話し合いやシミュレーションを繰り返して習熟度を高めました。また区長は災害時に備え避難訓練を重ねたことも報告されていました。

突然遭遇した火事で火勢が増し行政は避難勧告を発令しました。区長は避難を促すため各組長に電話を掛けましたが殆ど繋がりませんでした。

鎮火後判明したことは、組長が判断しグループ員に呼びかけ、自主避難をしていたため電話は繋がらなかったとのことでした。組長は状況を判断し行政からの勧告を待たず、住民の身の安全を図ったことと、警察や地元消防分団の積極的な支援が犠牲者の皆無に繋がりました。

安否確認制度の基本である住民同士が情報の共有に努め、訓練を繰り返すことにより習熟度を増し、リーダーのリーダーシップが発揮されたことに尽きます。

衣川台も糸魚川に優る安否確認制度の仕組みが確立されています。運営面で災害時の安否確認作業は漏れがあれば人命に関わる問題です。訓練とは言え全ての住民が災害を想定し、危機意識を持って取り組んでいるか振りかえる機会と捉えて頂ければ幸いです。

## お知らせ

内閣府（H28・12・26付）では、

従来の呼称 避難準備→避難勧告→避難指示

改正後々 避難準備高齢者避難開始→避難勧告→避難指示（緊急）

上記の通り改正されました。テレビのテロップ等が出たとき戸惑いのないよう対処下さい。



## 活動員募集！！

自主防災部事務局  
☎573-4435（田村修二）まで  
ご連絡下さい。



## 編集後記

情報班長新任の為戸惑い乍も、スタッフに支えられ何とか今年度の広報を発行する事が出来ました。出来るだけ読み易い紙面を心掛け編集致しました。又地震・水害・火災等のニュースが続き気がかりな今年度でした。次年度こそ平穩を祈ります。尚遅滞なく配布作業にご協力頂いた組長・GLの皆様には厚く御礼申し上げます。

情報班長 間島洋一

編集担当 一同